

事業報告

平成 26 年 7 月 4 日に「社会福祉法人制度のあり方について」（報告書）が厚労省から公表されました。報告では、社会福祉法人制度を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後に向けた課題として「財務諸表の開示を含め事業運営の透明性の確保」、「生活困窮者への支援等地域における公益的な活動の推進」及び「法人組織の体制強化」等改革に向けた方向性が示されました。

また、平成 27 年の介護報酬改正に向けては、厚労省から施設介護から在宅介護へ向けたプランが提示されておりましたが、平成 27 年 2 月 6 日に公表されました平成 27 年度からの介護報酬は、「施設から在宅へ」の方針が色濃く反映された改正内容となりました。これは、団塊の世代がすべて 75 歳以上となる 2025 年へ向けた社会福祉法人及び高齢者介護を取り巻く環境変化の始まりと考えております。

介護分野における人材確保につきましては、介護需要の増加と景気の好転に伴い他業種への人材流出と競合から、より一層厳しさを増しております。しかし、介護施設における最も大切な基盤は、サービスの担い手である人材であり、人材の安定的な確保なくして質の高いサービスの提供は困難でありますので、当法人も積極的に人材の確保に努めた厳しい 1 年でありました

一方、事業の収益活動におきましては、介護保険事業収入は特別養護老人ホーム 3 施設ともに増収となりましたが、デイサービス事業におきましてはご利用者の減少等により 2 施設とも減収となりました。また、公益事業の居宅介護支援事業におきましても、みなと居宅介護及びしおはま居宅介護支援事業ともに減収となりました。その結果、サービス活動収益（営業収益）は減収となりましたが、人件費、減価償却費及び事務費の減少により社会福祉事業が黒字転換し、サービス活動増減差額（営業利益）は、増益となりました。

また、経常増減差額（経常利益）及び当期活動増減差額（当期純利益）ともに黒字転換いたしました。

平成 26 年度、下記の事業に取り組みました。

1. 施設の経営

- (1) 特別養護老人ホーム 風の路
- (2) 特別養護老人ホーム アリビオ
- (3) 地域密着型特別養護老人ホーム サテライトみなと
- (4) みなと在宅介護サービスセンター
 - ①ディサービスセンター
 - ②居宅介護支援センター
 - ③在宅介護支援センター
 - ④訪問給食
- (5) しおはま在宅介護サービスセンター
 - ①ディサービスセンター
 - ②居宅介護支援センター
 - ③在宅介護支援センター
 - ④訪問給食
- (6) 四日市市西老人福祉センター

2. 重点項目への取り組み

特別養護老人ホーム 風の路

- (1) 地域との交流
 - 5月町内清掃参加
 - 10月秋祭りに自治会長、住民招待
 - 毎年、小中学生の職場体験受入実施
 - 21年度より塩浜栄町町内組長とし活動
 - 9月防災訓練参加（避難訓練）
 - 3月鈴鹿川クリーン作戦参加
- (2) 感染症の発生及び蔓延の予防
 - 出勤、外出帰所時の手洗いとうがいの励行
 - 職員のマスク着用（感染症流行期）
 - 感染症対策委員会開催（毎月開催、インフルエンザ、ノロ等感染症の予防対策の検討）加湿器、空気清浄器のメンテナンス管理の徹底
 - 温湿度管理
 - 施設内消毒の励行

栄養士講習へ派遣（7/9 11/17 食中毒、感染症の予防）
介護員講習へ派遣（9/20 感染症の予防と対策）
出前講座（11/25 12/9 感染症予防と対策）
インフルエンザ予防接種（11月）
看護師講習へ派遣（11/17 1/28 感染症の予防と対策）

特別養護老人ホーム アリビオ

(1) 地域との交流

26年4月：施設周辺の清掃を職員で行った。
26年5月：町内清掃に参加。
26年8月：*8/9 台風による自主避難の住民を6人受け入れる。
*大里町盆踊り大会に参加。
26年10月：*避難訓練に地域の方の協力を得る。
*塩浜地区文化祭に参加。
27年3月：*鈴鹿川クリーン作戦に職員参加。
*地区自治会総会に出席。
*中学生の職場体験受け入れ。

(2) 感染症の発生及び蔓延の予防

安全対策委員会にて感染症・食中毒予防検討（6回）
職員の勤務中、出退時のうがい、手洗いの励行。
手洗い時の手拭は使い捨てペーパーの使用。
入居者様、面会者様、職員の原則マスク着用（感染流行期）
施設内の温度、湿度の管理及び加湿器等のメンテナンス。
施設内の日常の清掃には消毒溶液にてドアノブ、手すり、便座を拭き消毒。
感染症対策物品準備等（吐物処理キッドの設置と使用の講習、点検）
感染症対策のための物品の購入・準備等（嘔吐物処理キットの用意）
感染予防啓発ポスター等の掲示
インフルエンザ予防接種（11月）（利用者様・職員）
外部研修への参加：食中毒・感染症予防研修（7/9 調理師・栄養士）
感染症予防研修（11/7 看護師・介護職員）
（1/28 施設長・看護師）
内部研修の開催：感染症対策出前講座（12/8 2回）
四日市市保健所 保健予防課 職員20名参加

特別養護老人ホーム サテライトみなど

(1) 地域との交流

26年5月9日（金）港地区自主防災連絡協議会総会 職員出席（本町プラザ）

26年8月3日（日）四日市まつり（大入道山車（中納屋町）、鯨船（南納屋町））
見学 職員、入居者参加

26年9月20日（土）17：00～ 施設行事「みなと夏まつり」

- ◇ サテライトみなと入居者、利用者、ご家族参加
- ◇ 高砂町自治会共催
- ◇ 高砂町民の方、地区民生児童委員を招待し、町内の児童については無料としました。

26年9月28日（日）9：00～ 「市民総ぐるみ総合防災訓練」

- ◇ 入居者、利用者、職員参加しました。

26年11月9日（日）「港地区&なやプラザ交流会（なやプラザ）」

- ◇ 主催：港地区&なやプラザ交流会実行委員会
- ◇ 職員、入居者参加し、みなとデイ・サテライトみなと紹介・作品を出展

27年3月20日（金）9：30～11：30 高砂町自治会との避難訓練出前講座 職員参加（高砂町）

その他：地域の方（稲葉町）の方によるPPバンド手芸の定期的な訪問あり。

(2) 感染症の発生及び蔓延の予防

感染症対策委員会開催 8回（26年5月、7月、9月、10月、11月、12月、
27年1月、3月）

マニュアル作成について

MRSA、緑膿菌等、インフルエンザへの対応についての具体的な手順の検討・
確認・実施

ユニット内の衛生管理についての手順等の見直しを行いました。

感染症対策のための物品の購入・準備等（嘔吐物処理キットの用意）

感染予防啓発（手洗い・うがいを行うよう職員出入口に掲示した）

外部研修への参加

26年11月：四日市市保健所主催「感染症対策研修会」介護職員1名、
看護職員1名参加

内部研修の開催

- ◇ 26年12月：四日市市保健所 保健予防課「感染症対策出前講座」職員9名参加
- ◇ 27年1月・2月：1/14（水）・2/11（水）「ノロウイルス対策（吐物処理の方法）」

インフルエンザ発生時には、当該ご利用者様を居室にて隔離対応するとともに、

発生ユニットのご家族へは、2週間程度の面会禁止のお願いをした。さらには施設内にマスク着用と手指消毒お願いの掲示を行いました。

みなと在宅介護サービスセンター

(1) 地域との交流

9/20 サテライトみなとと共同で、高砂町の住民を招待した夏祭りを実施。

毎月1回、慈善橋市場の相談コーナーを開設

毎月1回、港地区、中央地区民生児童委員協議会定例会に出席

はつらつ健康塾開催：全10回

中央地区社会福祉協議会総会出席：5/20

港地区ふれあいいいきサロン：4/15、6/17、7/15、8/19、9/3、10/21、11/18、12/16、
2/17、3/17

一人暮らしの集い：中央地区 6/1

同和地区 10/11

港地区 11/23

他にも、近隣の住民との挨拶を基本とした日常のふれあいを大切にするよう職員への指導を徹底しました。

(2) 感染症の発生及び蔓延の予防

感染症対策のための物品の準備（嘔吐物処理キットの準備）

送迎時等の利用者様への手指消毒の徹底

内部研修の開催 1/20「ノロウイルス対策（嘔吐処理の方法）」

しおはま在宅介護サービスセンター

(1) 地域との交流

26年5月：地域の清掃に職員参加。

26年10月：「風の路」秋祭りに協力。

毎月1回、塩浜地区民生委員・児童委員協議会定例会に出席。

介護保険、高齢者の日常生活における相談等を随時対応。

はつらつ健康塾9回。

しおはま各地域でのサロン事業協力。

(2) 感染症の発生及び蔓延の予防

感染症予防の基本を確認し併せて、吐物の処理キットの準備，

使用の研修を行った。口腔ケアの技法等研修し、清潔保持に努めた。

送迎時の利用者様の手指消毒を徹底。

感染流行期には、マスク着用を徹底。

職員の出退時の、うがい・手洗いを徹底。

感染症予防の啓発ポスター等の掲示。

外部研修への参加：感染症予（7/9 栄養士、11/17 栄養士・看護師）

内部研修への参加：感染症対策の基本研修（10月、3月）